

くらしのページ



フワフワ感が癒やし

クラゲ 捕り方、飼い方

大都市のペットショップやインターネットのペットコーナーで最近お目

にかかるのが、クラゲの飼育セット。フワフワと泳ぐ姿を眺めるだけで、『癒やし』の対象になるのだという。

「そうなんです。でも紀南では簡単に捕れますよ」というのは、紀伊民報で「宝の海」を連載し、「クラゲ先生」と言われる久保田信・京都大学瀬戸臨海実験所助教。簡単なクラゲの捕り

方、飼い方を伝授していただいた。

夏場、紀南地方の港でも比較的簡単に入手できるタコクラゲ写真。毒もなく、捕獲にはできるだけ目が細かくて長い捕虫網を使う。網の底部を

カットし、半分に切ったペットボトルの飲み口の方をふたを付けたまま取り付ける。あとは海面付近を引いて歩くだけ。クラゲをペットボトルの口から海水ごとケースに入

れる。

今なら傘径2サ前後の子どもクラゲや、もっと若い世代である直径数センチのエフェラという赤ちゃんクラゲが捕れる。閉鎖的な湾が狙い目。飼育・観賞には、できるだけ涼しいところを選んで、金魚用の小型水槽

を使う。夏場は高水温から酸欠になりやすくエアポンプを付ける。その水流に乗って動き回る姿が結構おもしろい。ポコポコと泡が出るぐらいに弱くするのがコツ。タコクラゲは光合成する共生藻を住まわせている変わり者。1日1回の日向ぼ

っこがほしい。

水換えは週1回、海水の3分の1程度を交換する。餌は2〜3日に1回程度、市販のフラインシュリンプを与える。傘径が10サ以上に成長するまで、大きくなったら捕まえた場所に放してあげよう。

(山口一夫)